

2026年4月8日

「日本 SETI 研究会」発足 記者会見資料

本日、任意団体「日本 SETI 研究会」(Japanese Society for SETI, 略称 SETI.JP) を発足させました。

本会は科学的手法における SETI (地球外知的生命探査) に関する観測・研究を行うとともに、会員相互の研究交流、情報交換を図ることを目的としています。これまで国内では有志での勉強会はありましたが、SETI 研究の組織は**日本初**です。

事務局 所在地 兵庫県立大学 商科キャンパス 鳴沢真也研究室内

役員名簿

会長： 鳴沢真也 (兵庫県立大学専任講師) 本日出席
副会長： 尾久土正己 (奈良県立大学学長) 本日出席
富田晃彦 (和歌山大学教育学部教授)
事務局長： 米澤 樹 (和歌山県紀美野町みさと天文台研究員)
技術局長： 岸裏一起 (和歌山県紀美野町みさと天文台客員研究員) 本日出席
広報局長： 澤田幸輝 (摂南大学講師)
会計監査： 谷口悠一 (株式会社コバコ代表取締役、公認会計士、税理士)
(他会員 2名)

ホームページ

<https://seti.jp>



ロゴマーク と エンブレム

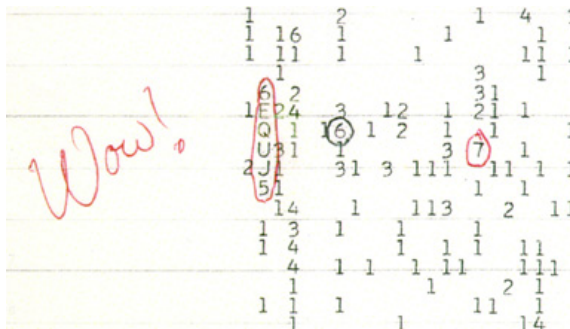


なぜ本日発足か？

1960年4月8日、世界初の SETI 観測「オズマ計画」がアメリカ国立電波天文台でスタートしました。

活動計画予定・構想

まずは・・・



2027年8月 「Wow 信号受信 50周年・世界合同観測」

Wow 信号とは、1977年8月にいて座から到来した電波で、人工的な性質を持った SETI 観測史上最も有名な候補信号です。その発信源を巡っては現在も専門家の中で議論が継続していますが、正体は解明されていません。

Wow 信号が受信されて 50 年になるのを記念して、世界中に電波源方向の集中観測を呼びかけます。

本会自体はみさと天文台の 8 m 電波望遠鏡での観測を計画しています。

このキャンペーン観測資金調達のために今年の夏からクラウド・ファンディングを開始する予定です。これにつきましては、別に公開いたしますので、その時も御取材をよろしく願います。



近い将来・・・

光学 SETI を含めた観測網の構築

知的生命からのレーザー光線を受信する目的の観測（光学 SETI）のため、複数の施設の望遠鏡に専用の機材を装着します。電波観測とあわせて国内に強固な SETI 観測網を構築します。本家アメリカの SETI 研究所に匹敵する活動を目指します。

会員数が増えたら、年に 1 度の SETI シンポジウムを開催。

いずれ・・・

SETI 観測の理想の地、月の裏側での観測